



高橋 孝夫
(平政会)

平成19年度の 市政運営は

質問 新市の市長として初めての予算編成であり、その内容は重要な意味があるものと思う。編成に当たって、1、どのような視点で編成したか。2、重要施策に対する考え方は。3、合併前のシミュレーションと比較しての感想の3点をお尋ねする。

答弁 1、新市建設計画を基本に、策定中の実施計画と整合性を図り、地域産業の振興、福祉施策の充実等に重点を置き、事業の目的とする効果のほか、他の施策の効果も期待できるように工夫している。2、新規及び拡充施策として、空き店舗の解消を促進する空き店舗流動化支援事業、子育て家庭支援のためのファミリーサポートセンターの設置、市民サービスセンターの開設や教育環境の整備等を進める。3、新市建設計画の財政推計とは予算規模で約11億円の減となっている。これは普通建設事業費の減が主なもので、大変厳しい状況にある。

観光産業の振興策

質問 能代市の発展は能代港の発展なくして考えられない。港にかかわる国、県、市、火力発電所、実行委員会の5者共催で、一大イベントとして「みなと祭り」を開催すべきではないか。また、市長の観光に対する具体的計画及び長期的構想を示さるたい。

答弁 市民に港に親んでもらうため、「みなと祭り」に対してはこれまででも市では補助金や人的な支援、国では体験航海の実施、県では会場の管理等で協力している。当面、民間の積極的な取り組みを尊重したいと考えているが、本市の貴重な観光資源の一つと位置づけ、他の観光資源との連携についても検討したい。また、恵まれた自然環境や交通体系を有効に活用し、滞在型観光への誘導を図りたい。さらに観光による地域振興を図るため、市町村の枠組みにとらわれず相互連携により相乗効果を高める広域的取り組みについて具体的な検討を進めている。

高橋議員のその他の質問事項

- きみまち阪公園の管理
- 行政エリア構想と新市庁舎の位置
- 二ツ井地域局機構の見直し



飯坂 誠悦
(創風会)

中心市街地 活性化基本計画

質問 中心市街地活性化に取り組むその具体的な考えを示してほしい。また、活性化を推進するに当たりのようにして商店街の意識改革や自助努力を促していくか。国に対し基本計画の認定を申請してもらいたいが、その考えはあるのか。

答弁 街の機能や魅力を高め、人の流れを呼び込み、コミュニティの形成によりにぎわいの創出を図るため、商店街、市民、行政が三位一体となって活性化の取り組みを行うていかなければならないと考えている。まちづくりに関する意見交換会や勉強会の開催等を行う中で、お互いの意識を高めていきたい。イオン出店の手続を進めることで、現時点では基本計画の認定は厳しいと想定されるが、市としての計画策定は必要であり、主体的に事業に取り組む民間事業者の参入や取り組むべき事業の内容を明らかにしながら、熟度を高

めた中心市街地活性化計画にしていきたい。

NPO法人

質問 能代市にNPO法人はどれくらいあるのか。また、市民ニーズにこたえるため、質の高いNPO法人と連携していく考えはあるか。

答弁 現在能代市には10団体のNPO法人が認証されている。活動分野は福祉分野で6団体、教育・文化の分野で3団体、情報化社会の分野で1団体となっている。NPO法人との連携については、17年度より能代市文化会館の管理・運営や放課後の留守家庭児童会の運営を委託している。NPO法人は地域に密着したニーズに対応できる柔軟性と機動性にすぐれていることから、行政とNPO法人が互いの特性を理解し、尊重しながら協働することにより相乗効果が生み出され、より良いサービス提供につながることを期待される。NPO法人の設立支援と合わせてさまざまな分野で連携の可能性を探っていきたい。